

大切なものは 隠れて見えない

数学だけでなく、『心の教材』にもなる！



『タレスの直角三角形メソッド』は
文部科学省の学習要綱と違うため
学校教育に取り入れられるのは難しい

「子ども食堂」「フリースクール」
「アフタースクール」などで
普及活動をしています

*ご興味のある方は、是非、ご連絡下さい

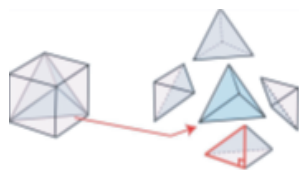
【外側からのアプローチ（中心に何も無い）】

- ・四角形の豆腐は、包丁で簡単に四角形に4等分できる
(正方形を正確に半分に切るにはガイドが無いと難しい)
- ・四角形の厚揚げは、包丁で簡単に三角形に2等分できる
(三角形は、角と角を結ぶので正確に例外なく切れる)

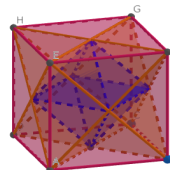
【内側からのアプローチ（中心に何かある）】

(種 / 正四面体 / 正八面体 / 振動源など)

- ・桃は、包丁で簡単に二等分できない！
『種』があるから → 中心から外側へ四方八方へ拡散



※立方体の中心の
「正四面体」
「正八面体」
隠れて見えない！



机上の空論：『無』と『空』は全く違う

『無』：0（ゼロ）、有無の「無」=ないこと、存在しないこと
『空』：空気などの透明で見えないけれど存在する（エネルギー）
実体が無いのでどんな形にもなる可能性がある

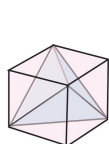
『タレスの直角三角形メソッド』の最大の発見は『直角正三角錐』

- ※『直角正三角錐』は具現化された形で存在 → 数学の計算に入れることができる
- ※ 数学者は平面上で計算をし、PCの画面上で立体を操るなど『2次元で思考実験』をする
- ※ 実際に立体図形を作る人が少なく、この矛盾に気づいた人はほぼ皆無に等しいと思われる

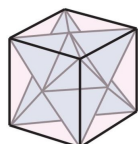
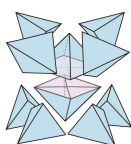
※『直角正三角錐』が無いと、立体を作ること、保持することもほぼ不可能

実際に、やってみよう！（曲芸レベルに難しい）

『直角正三角錐』無しで作るのがどれだけ難しいか試してみてね！



直角正三角錐があることで
完全充填型の立方体ができる

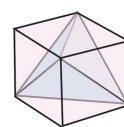
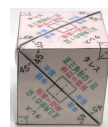
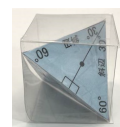
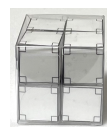


直角正三角錐8個
正八面体



- ※『立方体』は、入れ物（ケース的役割）
- ※『正四面体』と『直角正三角錐』が100%の充填率で接着

知らず知らずの内に常識にとらわれない
自由な発想感覚が身につく！



手のひらサイズなので手軽に実験できる

【本質を見抜く力】

- ・見えないところにあるものに気づく

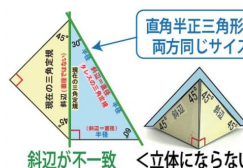
【常識にとらわれない力】

- ・見えないものにも、価値がある
- ・三角定規の組み合わせ

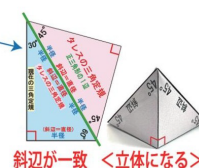
《世界最古級のタレスの定理（円周角の定理）を忠実に再現》

現在の三角定規

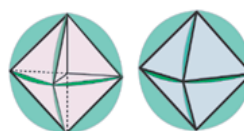
タレスの三角定規



直角半正三角形は
両方同じサイズ



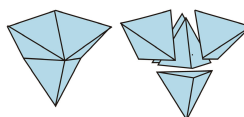
斜辺が一致 <立体になる>



球の中の正八面体

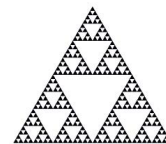


64四面体
(タレス立方体X8個)



中央の正四面体は
隠れて見えない

ダビンチの星（正四面体型）
四次元立体、超正四面体、正五胞体



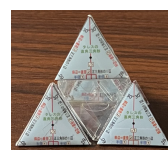
シェルピンスキーの三角形（フラクタル図形）



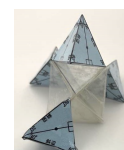
『直角正三角錐』があれば簡単！
(上に重ねていくだけで100%充填)



検索：タレスの直角三角形メソッド
<https://triangularemw3.com>



逆正三角錐が正八面体



中心に正八面体

フラクタル図形を作る時『直角正三角錐』は必要不可欠！

- ※ 現在の数学では『直角正三角錐』は無視して計算もしなくていい
- ※ 比率で計算をすると、三角形と四角形の面積と体積は同じになる